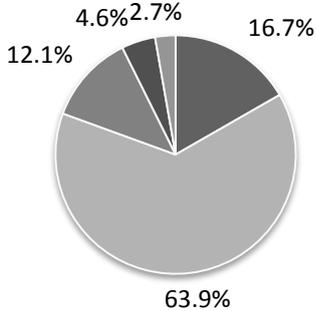




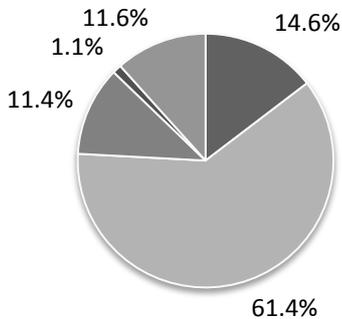
学校評価アンケート《保護者アンケート》結果&コメント ※グラフはHPにも掲載中

1. 学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている



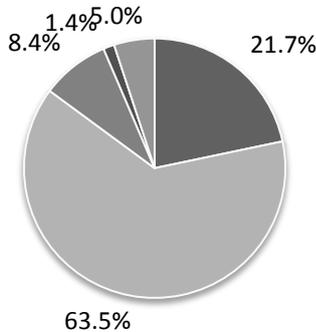
- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

2. 学校は、子どもにわかりやすい授業を工夫している



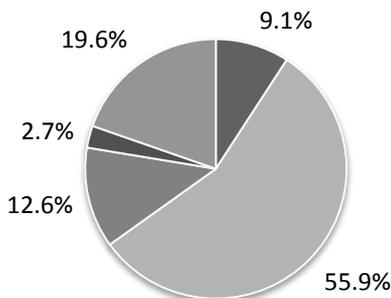
- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

3. 学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

4. 学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

1. 学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている

主語は「学校」だが、保護者の方は誰（何）を想定して回答したのか気になるところである。発信する方法には様々なものがある。学校からはお便りやHP、メール配信があり、個々では電話や連絡帳だが、顔を見て話をすることも含まれるであろう。何れにしても、保護者の方のニーズにあった情報を、タイムリーに発信することが肝要である。

2. 学校は、子どもにわかりやすい授業を工夫している

授業参観だけでは判断が難しく、プリントやノートを見て考えた方が、また、他の設問でも言えることだが、直接子供に聞いて回答した方もいらっしゃる予想する。『難しいことをわかりやすく教える』ことは教師のテクニックのひとつだが、少々ハードルが高くても、児童自らが乗り越えることを支援するのも今の教師には求められている。そして、それぞれのハードルの高さが高くなる場所が難しいと言える。

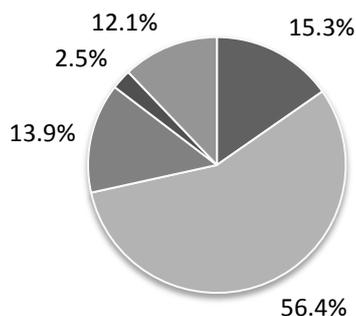
3. 学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている

学校管理下だけでなく、保護者の管理下における児童の安全確保・健康管理についても対策を講じる必要がある、場合によっては他機関や他の施設と連携・協力が学校に求められている。もちろん普段から安全面や健康面を発信していくことが大切であり、学校（校長）が行う不測の事態や緊急時の対応についても、保護者の方が評価するのは当然のことである。

4. 学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる

本来はいじめや虐待のようなことは、日頃からの見取り、聞き取り、気づきが重要なのは言うまでもない。但し、学校（校長や担任）がいくら努力していると言っても、それらのことが児童や保護者の方に実感として伝わらなければ自己満足になるかもしれない。さらに、事案が起こった際の対応もまたしかりである。昨年度と比べてよい評価となっていることに安心感を覚えるが、「思わない」方に回答した方の根拠や理由を推し量ることも必要である。

5. 子ども一人一人が大切にされ、認められる学校になっている

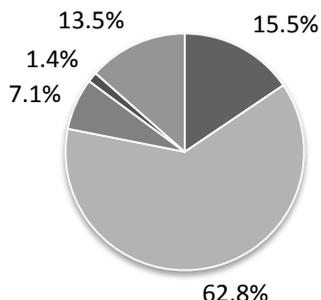


- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

5. 子ども一人一人が大切にされ、認められる学校になっている

対象が保護者の方と考えても難しい設問なのかもしれない。わが子に対する学校の対応・対処の評価と考えていだろう。授業を行う際、個（それぞれの児童）に応じた指導・支援と言われて久しいが、学校生活全般においても今は同様のことを求められている。もっと言えば、それぞれの保護者に対してもそれぞれの対応が必要とされていると言っても過言ではない。学校・教育に対する要望・ニーズが多様化している中、集団生活におけるルールやマナー、モラルの確立と、個別の児童への配慮・支援の在り方とのバランスは、永遠の課題かもしれない。

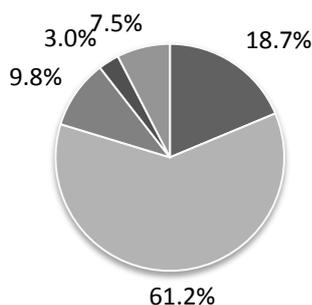
6. 学校は、子どもに生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教育している



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

児童アンケートの設問6と関連した内容である。集団での規律を守りそれに応じた行動をとることは、子供が社会に出た際に必要とされるものである。家族というミニマムな集団でもそれを求められる。児童の道徳性を培うには、家庭や学校での日頃の指導はもちろん、道徳の授業も大切である。計画的に系統的に、しかも児童自らが考え整理し、行動できるように学習を続けることで、様々な場面やケースに適切に対応できるようになるからである。

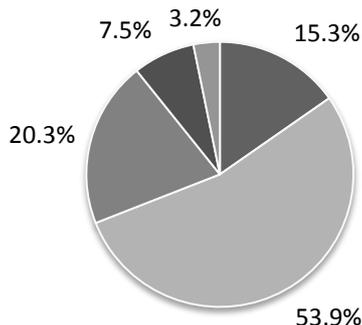
7. 家庭・地域と小学校は、それぞれの役割を果たし、連携・協力をしている



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

学校の役割は時代の流れや要請によって微妙に変化しているが、家庭の役割も変化しているのだろうか。家庭の意義や家族の在り方は、その構成する人数や住んでいる地域性によって微妙に異なると思うが、根本的なところは不変であろう。では、地域の役割とは何か。個人的な見解を述べると、学校や家庭という比較的閉ざされた集団・空間に対し、ごく一般的な社会性を指し示すことができる集まりであると思っている。今後は連携・協力という意味で、それぞれの役割を再考すべきかもしれない。

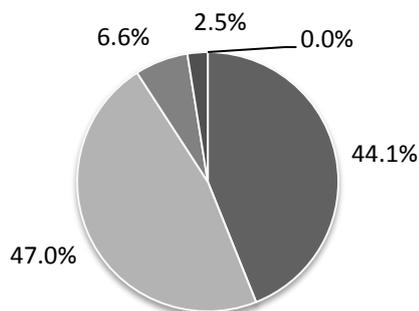
8. 学校施設は、教育的配慮がなされ、美しく使いやすい



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

昨年度と比べて、保護者の方の評価が児童よりも高いという結果になった。やはり、南校舎のトイレとエアコンの影響かもしれない。「教育的配慮」という言葉は難しいが、各教室が学習する環境になっているかがポイントである。また、それは図書室や外国語ルーム、理科室や音楽室などの特別教室も同様である。保護者の方が参観等で来校された際にみていただくことも可能であり、その際は職員室に一声かけていただきたい。

9. 子どもは、毎日楽しそうに小学校へ通っている



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

保護者の方にとっては、何を聞いても気になる項目である。よって「わからない」が0であった。9割以上が「思う」方に回答。少ないやなことがあっても、朝には元気に登校するところが子供らしいと言えば簡単だが、子供なりの悩みも葛藤もあって当然である。親に心配をかけないために、元気を装っている子もいるのでは…と思うのは考えすぎであろうか。設問11と関係するが、家の人が学校のことを聞いたとき、子供がいやがったりおこったりしたときは要注意と思っている。